

つどい まなぶ つくる

よろこび

2014年秋号 (No.2)

CONTENTS

- 2 鹿嶋市芸術祭、て〜ら祭の開催 ほか
- 2 施設紹介・ようこそ！まなびの杜
「パソコン室」
- 3 ^{しみせん}市民センのひろば ほか
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊 ほか
「第17回はまなす塩づくり体験」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「はっこサポーター・所畑 茂さん」



第13回 鹿嶋市芸術祭

10月21日(火)～26日(日)

9:30～17:00(最終日は～15:00)

まちづくり市民センター体育館

部門 絵画・書・写真・工芸・洋裁・編物・手芸・華道・ちぎり絵・自由創作

出品資格 市内に在住・在勤の高校生以上の方及び市内の社会教育施設などを活動の場とする方

出品申込 9月23日(火)～28日(日) 9:00～17:00
※まちづくり市民センターまたは各地区まちづくりセンター(各公民館)にある所定の申込用紙に必要な事項を記入し同所に申込み

搬入 10月19日(日) まちづくり市民センター体育館
13:00～14:00(華道以外の全部門)

搬出 10月26日(日) 15:00～

問合せ まちづくり市民センター
TEL:83-1551



▲昨年度の展示会場

第8回 て～ら祭

笑顔だ 元気だ て～ら祭

11月22日(土)～23日(日)

まちづくり市民センター

まちづくり市民センターに集う人たちの「出会いと絆」を図るとともに、日頃の活動の成果を発表し、つどい・学び・つくる喜びを共有することを目的に開催します。

各種催し ◆参加団体活動発表 ◆作品展示
◆講演会 ◆模擬店 ◆抽選会



▲昨年度のステージから

問合せ まちづくり市民センター TEL83-1551

※て～らとは鹿嶋地方の方言で、「多くの人」という意味

～まちづくり市民センターの館内をシリーズで紹介～



ようこそ! まなびの杜
(vol.2)



「パソコン室」



パソコン教室や研修会などを行うために常設のパソコン室を備えています。

7月上旬のパソコンの入替に伴い、デスクトップ型からすべてノート型に変更になりました。

詳細は、まちづくり市民センターまでお問い合わせください。



<パソコン室 データファイル>

- 【場所】 B棟3階
【面積】 82㎡
【備品】 講師用パソコン1台、生徒用パソコン20台(OS: Windows8.1、office: 2013)、プリンター(有料)、プロジェクター、スクリーンなど
【施設の予約】 使用する日の前月の1日(初日)から予約可能。
【利用料金】 市内在住・在勤の方は無料。ただし、生涯学習活動でない場合などは有料(2時間まで1,540円、2時間以降1時間毎に770円加算)となります。
【その他】 予約する際は5名以上の団体であることが条件です。

利用しています!!

しみせんの
市民セン



笹淵 光子さん
(宮中)

市民センター2階の鹿嶋市青少年育成市民会議の事務室に勤務しています。気軽に事務室にお立ち寄りください!



森 秀暢さん
(荒井)

写真の素晴らしさを広めるため、フォト講座で月6回利用しています。フォト活動とあわせて、ぜひ感動を味わって欲しいです!



石黒 圭吾さん
(大小志崎)

月2回、「やさしく楽しいウクレレ講座」で利用しています。4月から始めてもう5曲弾けるようになりました。先日は結婚式で演奏して自信がつかれました!

地域レポート



まちづくり
探検隊
(vol.2)

第17回

はまなす塩づくり体験

文太長者の民話を基に塩づくりを再現する「はまなす塩づくり体験」が7月20日、はまなすまちづくりセンターで開催されました。

この事業は、昔から鹿島灘沿岸で盛んに行われた塩づくりを、体験事業として実施することで、塩づくりの工程や地域の歴史を子どもたちに学んでもらおうと、はまなす塩づくり体験実行委員会(委員長=根本田正男さん)とはまなすまちづくり委員会(委員長=内田正夫さん)が主催するものです。

参加したのは市内の児童や保護者など約70人。5班に分かれて竈(かまど)に設置された平釜に鹿島灘の海水を注ぎ入れ、火入れやまき入れ、あく取りなどを行い、約50キロの塩を炊き上げました。



▲はじめにパネルで塩づくりの工程を学習する子どもたち



▲粘土で竈(かまど)づくりにも挑戦



▲角折海岸に移動して塩田づくりを体験



▲煮詰めること5時間。海水が塩になり始めました



▲出来上がった真っ白な塩を子どもたちが計量

参加者募集

掲示板

市民カレッジ講座
「歴史ウォーキング」

今年5月に完成した「鹿嶋神の道」の一部を散策する歴史講座です。

日時 10月17日(金)
9:30~12:00(受付9:00~)

コース 鹿嶋神の道(一部)
まちづくり市民センター~山之上谷津田~坂戸神社~宮中野古墳群~天狗党の墓~鎌足神社~鹿島城址~鹿島神宮~御手洗池~まちづくり市民センター
※コース・内容は、天候などにより変更になる場合があります。

対象 市内に在住・在勤の方(20人)

参加費 無料

申込方法 10月3日(金)までに、電話または下記に直接申し込むか、FAX(「歴史ウォーキング申込み」と題し、住所・氏名・年齢・電話番号を明記)で申込み

問合せ まちづくり市民センター
TEL: 83-1551
FAX: 83-1553

★編集後記★今号の巻末インタビューは、鉢形小児童支援の会のはっこサポーターのキャンプにおじゃましました。毎回熱い思いを直に聞くことができるのは編集の醍醐味です。活動のすべてをお伝えできずこの場を借りてお詫びいたします。次号の冬号は、12月15日に発行予定です。次号もたくさんの方の笑顔にご期待ください!!

鉢形小学校児童支援の会 「はちっこサポーター」

代表 ^{しよ} ^{ぼた} 所 畑 茂さん
(平井丘・61歳)



▲夏休みのキャンプでサポーターがのこぎりの使い方を子どもたちに指導

親でも先生でもない 「地域の大人」の役割を果たす

寺子屋で 子どもの居場所づくり

学校が週5日制となり、何か子どもの“居場所づくり”がしたいと仲間と活動を開始して、今年で10年になります。初めは、不定期で開催していましたが、現在は「休日子ども教室」として市から委託を受け、鉢形まちづくりセンターで、毎月第3土曜日の寺子屋や夏休みのキャンプ、年末のもちつきなど年間とおして活動しています。

会員は20人ですが、常時活動するのは7～8人。みんな仕事も年齢層もばらばらで、小学生の親もいれば、孫がいる年齢のメンバーもいます。親父の会ではないので、もちろん女性もいます。

10周年は 手作りピザに挑戦

発足時から実施している事業のひとつに夏休みのキャンプがあります。企画・打合せから事前準備と、メンバーの得意分野や持っている知識を最大限に生かし、毎回みんなで試行錯誤。10年間続く事業でも、言うならば毎年新規事業ですね。

今年のキャンプでは、数年企画を温めていた手作りピザに挑戦しました。構想実現のために1週間前にメンバーが試作を行い、ピザ生地はもちろん、ピザ窯も耐火レンガで手作りしました。

数年前には、地区内にある鹿島宇宙技術センターに勤務する人に、自前の望遠鏡を持ってきてもらい天体観測をしたこともあります。望遠鏡を覗いた瞬間、環の付いた土星がぱっと目の前に現れて…。子どもも大人も大感激でした。子どもを楽しませることが目的ですが、自分たちも一緒に楽しむことを基本に活動していることが継続の秘訣だと思っています。

“ものづくり”の 楽しさを伝えたい

昔と違って、今は欲しいものが苦労しなくても手に入る時代。食べ物や遊びに関してハングリーさに欠けるのも無理はありません。

包丁やカッター、火気などを扱うこともありますが、カッターナイフを使いこなす以前に、根気よくじっくり工作すること自体が子どもにとっては難しいようです。子どもたちがいろいろなことに挑戦し、自分で

できたときに面白いと感ずることができ、そういうものづくりの楽しさを体験できる場にしたいと思っています。

地域に根付いた活動を

自分の子どもでなくても、ときには厳しく注意することもあります。今忘れられつつある、親でもない先生でもない第三の地域の大人の重要な役割です。

ひとりの子どもと接点を持つのは本当に短い期間ですが、低学年のときはやんちゃだった子が、高学年になり成長した姿を見るとやはりうれしいですね。

目標は事業の拡大とか、大きな夢を語るつもりはありません(笑)。自分たちの技量を惜しみなく発揮し、常に主体性を持ちながら地域に根付いた活動を続けていきたいと思っています。



▲メンバーの試行錯誤で完成したピザ窯



▲手作りのピザ生地に好きな具材をトッピングする子どもたち